

社会科学習指導案

令和4年6月1日(水) 第5校時 第5学年3組(5年3組教室)

【単元】あたたかい土地のくらし～沖縄～「(1)ア(イ), (1)イ(イ)」

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県に住む人々は、あたたかい気候に合わせて、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることへの理解と、地図や統計等の資料で調べたことをまとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県に住む人々の生活の工夫について、あたたかい気候とそこに住む人々の生活とを関連付けて表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県について主体的に調べ、問題を解決しようとする態度と、我が国の国土の自然に対する愛情と我が国の将来を担う国民としての自覚
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> 海津市に住む人々は、低い土地という地形に合わせて、低い土地という地形を生かしたりして川の水を有効活用したり、水害に備えたりして生活していることを理解している。 寒暖等の気候に特色のある地域に住む人々は、その土地の気候に合わせて、気候を生かしたりして生活していることについての理解は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 海津市の地形とそこに住む人々の生活とを関連付けることで、低い土地という地形に合わせて、低い土地という地形を生かしたりして生活していることを見いだしている。 地域ごとの雨温図を比較し、地域ごとの気候の違いを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 海津市に住む人々の生活について疑問や調べたいことをもち、問題を主体的に追究している。 沖縄県は有名な観光地であり、魅力的な場所として捉えており、沖縄県を学習することに対して興味・関心が高い。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県は、世界の中でも有名な観光地であり、温暖多雨で台風がよく上陸するという気候に特色がある地域である。子どもたちは沖縄県についてあたたかい、パイナップルやさとうきび、きれいな海、台風がよく上陸する地域など、端的に捉えている。このような子どもたちが沖縄県のように気候に特色のある地域について、気候と人々の生活との関連を考えることで、人々が気候に合わせて、気候を生かしたりしながら生活しているという人々の生活の工夫を捉えることができる。そして、気候の側面から、特色ある地域の自然条件と人々の生活や産業とを関連付けることにより、我が国の国土の自然に対する愛情の素地を育むことにつながる。我が国の将来を担う国民としての自覚を養うことができる。 観点ごとに調べたことを総合することで、沖縄県に住む人々はあたたかい気候に合わせて、あたたかい気候を生かしたりしながら生活しているという概念的知識を得ることができる。 雨温図や主な農作物の作付面積、観光客数の変化を表すグラフ等の資料で沖縄県の人々の生活の様子等を調べ、整理することで沖縄県に住む人々の生活の工夫をまとめる技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県のあたたかい気候とそこに住む人々の生活、農業、観光業の様子との関連を考えることにより、沖縄県に住む人々は、あたたかい気候に合わせて風通しがよく、強風に強い家造りをしたり、あたたかい気候を生かした農作物を作ったりするなど、あたたかい気候に合わせて、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県に住む人々の生活と群馬県に住む人々の生活とを比較しながら追究することにより、その相違点から追究の意欲が高まり、意欲的に学習に取り組むことができる。 観光業と環境の保護の視点から、持続可能な開発の大切さに気付き、我が国の将来を担う国民としての自覚を養うことができる。
見方・考え方	生活、農業、観光業の様子に着目して、あたたかい気候の沖縄県に住む人々の生活の工夫を捉え、それらと気候の特色とを関連付けたり総合したりして考えること。		
今後の学習	5年「米づくりのさかんな地域～山形県庄内平野～」で、地形や気候を生かした米づくりに関わる人々の工夫や努力を考える学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	あたたかい土地に住む人々の生活について、地図や統計などの資料で調べ、他地域と比較したり、気候と関連付けたりすることを通して、沖縄県に住む人々はあたたかい気候に合わせてたり、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを理解する。			
評価規準	①(知・技) 沖縄県に住む人々は、あたたかい気候に合わせてたり、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを理解している。 沖縄県の気候の特色や生活、農業、観光業の様子に関わる資料から必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 ②(思・判・表) 沖縄県に住む人々の生活について、あたたかい気候とそこに住む人々の生活とを関連付けて、その工夫を表現している。 ③(主体的態度) 沖縄県に住む人々の生活やあたたかい気候について興味をもち、学習問題や学習計画を立てたり、予想を考えたりして、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを考え、学習問題を立てる。 学習問題 沖縄県に住む人々の生活にはどのような工夫があるのだろうか	○沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを考えられるように、沖縄県の地形を示す地図や雨温図、特産物、観光スポット、台風が沖縄県に上陸した際の様子、沖縄県の風景等の写真を提示する。	◇沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習プリント②>
	1	○沖縄県に住む人々の生活についての疑問点や調べたいことを基に、学習計画を立てる。 <調べる観点> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の様子 ・農業の様子 ・観光業の様子 	○沖縄県に住む人々の生活の工夫について予想できるように、沖縄県と群馬県の家の外観、主な農作物やその栽培風景、観光スポット等の写真を提示する。	◇ 沖縄県に住む人々の生活の工夫について予想したことを記述している。 <学習プリント③>
追究する	1	○沖縄県に住む人々の生活の様子について調べ、気候との関わりを話し合う。	○沖縄県に住む人々の生活の様子を見いだせるように、沖縄県と群馬県の雨温図、上陸する台風の数記録したグラフ、家の写真や服装の目安を示した表を提示する。	◇沖縄県の人々は、防風林や石垣を設置したり、風通しのよい家造りをするなど、あたたかい気候に合わせてたり、台風に備えたりして生活していることを記述している。 <学習シート①>
	1	○沖縄県の農業の様子について調べ、気候との関わりを話し合う。	○沖縄県と群馬県の農業の様子の違いから、沖縄県の農業の様子の共通点を見いだせるように沖縄県と群馬県の主な農作物の表や作付面積、生産額、菊の出荷量を示すグラフから読み取ったことを基に、沖縄県と群馬県との農業の相違点を比較する機会を設定する。	◇沖縄県では、さとうきびやパイナップル、菊などの農作物をあたたかい気候に合わせてたり、あたたかい気候を生かしたりして栽培していることを記述している。 <学習シート①>
	1	○沖縄県の観光業の様子について調べ、気候との関わりを話し合う。	○沖縄県の観光業の様子をあたたかい気候や自然環境と観光業の推進との因果関係から考えられるように、沖縄県の主な観光スポット、観光客数の変化や沖縄県観光の目的を表したグラフ、赤土が流れ込んだ海岸の写真を提示する。	◇ 沖縄県では、あたたかい気候を生かして観光業を推進するとともに、自然環境を大切にしながら持続可能な開発を推進していることを記述している。 <学習シート②>
まとめを生かす	1	○ 沖縄県に住む人々の生活の工夫について学習問題の答えを出す。(本時)	○沖縄県に住む人々の生活の工夫を総合して考えられるように、子どもたちが事前に考えた沖縄県の人々の生活の工夫を整理して、共通点を見いだす学習シートを提示する。	◇ 沖縄県に住む人々は、あたたかい気候に合わせてたり、あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを記述している。 <学習シート①>

本時の学習（6／6時間目）

ねらい 自ら調べてきた沖縄県の人々の生活の工夫と生活，農業，観光業の観点で追究してきた既習事項との関連と，それらの共通点を話し合うことを通して，沖縄県に住む人々は，あたたかい気候に合わせてたり，あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを理解する。

評価項目 **沖縄県に住む人々は，あたたかい気候に合わせてたり，あたたかい気候を生かしたりしながら生活していることを記述している。** <学習シート①>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・沖縄県に住む人々の生活の工夫を考えてきたよ。友達はどのような資料を根拠に，どのような工夫を考えてきたのかな。友達と一緒に考えながら学習問題の答えを出したいな。 (問題意識)</p>	<p>○学習問題を解決するという本時の学習の見通しをもてるように，学習計画表や既習内容の板書を提示し，本時の学習で行うことを問いかける。</p>
<p>めあて：学習問題の答えを出そう</p>	
<p>2 沖縄県に住む人々の生活の工夫について話し合う。</p> <p>・ぼくは，沖縄県は台風がよく上陸する地域で，石垣や防風林などを家の周りに置いて，台風から身を守るための生活をしているから，「備える」がキーワードになると思うよ。</p> <p>・ぼくは，「備える」がキーワードだと思ったけど，Aさんは，「合わせる」がキーワードだと考えているな。理由を聞いてみよう。</p> <p>・なるほど，沖縄県は一年中あたたかいから，それに合わせて風通しのよい家造りをしたり，かりゆしなどの涼しい服を着ていたりするし，あたたかい気候に合わせてパイナップルやさとうきびなどの農作物を作っているからそのように考えたのだね。</p> <p>・Aさんの話から，台風に備えた生活も，気候に合わせているとも言えるから，「合わせる」がキーワードになりそうだな。</p> <p>・Bさんが言うように，沖縄県はあたたかい気候を生かすことで他の地域が作りづらい寒い時期でも菊の栽培を行っているね。それに，ダイビングやキャンプ見学など，あたたかい気候を生かした観光業にも取り組んでいるね。</p> <p>・沖縄県の農業には，あたたかい気候に合わせてだけでなく，あたたかい気候を生かしている面もあったから，「生かす」も大切なキーワードだと思ったよ。</p> <p>・みんなの話から，「合わせる」だけでなく，「生かす」も沖縄県の人々の生活の工夫を考える際に，大切なキーワードになりそうだな。</p>	<p>○沖縄県に住む人々の生活の工夫について，自他の考えやその根拠の共通点や相違点を見いだせるように，自他の考えた沖縄県に住む人々の生活の工夫とその根拠となる資料を貼付した学習シートを比較するよう促す。</p> <p>○沖縄県に住む人々の生活の工夫についての概念的知識に気付けるように，考えやその根拠となる資料が異なる小集団で，一枚の学習シートに工夫をまとめるよう促す。</p> <p>○自ら調べてきた生活の工夫と既習事項との関連を明確にできるように，自ら調べてきたことと関わりの深い既習事項とを合わせて学習シートに記述するよう促す。</p> <p>○自らの沖縄県に住む人々の生活の工夫を明確にして説明できるように，沖縄県に住む人々の生活の工夫となる根拠を問いかける。</p> <p>○それぞれの小集団で見いだした沖縄県に住む人々の生活の工夫を表すキーワードの共通点や相違点を見いだせるように，小集団ごとに提出した学習シートのキーワードを比較するよう促す。</p> <p>○それぞれの小集団の共通点から見いだした沖縄県の人々の生活の工夫を表すキーワードとその根拠を明らかにできるように，小集団で見いだしたキーワードとその根拠を発表するよう促し，それらと気候との関連をキーワードごとに分けて板書する。</p>
<p>・沖縄県の人々の生活には，あたたかい気候に合わせてたり，あたたかい気候を生かしたりするという工夫があるのだね。 (問題解決をした意識)</p>	<p>○沖縄県に住む人々の生活の工夫をクラス全体で概念化できるように，共有したキーワードを用いて学習問題の答えを出すよう促す。</p>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>・沖縄県に住む人々は，あたたかい気候に合わせてたり，あたたかい気候を生かしたりした工夫をして農業や観光業に取り組んでいるね。また，台風から身を守るための備えも工夫として行っているね。つまり，沖縄県に住む人々は，気候に適應して生活していることが分かったよ。</p>	<p>○あたたかい気候と沖縄県に住む人々の生活には関連があることに気付けたことを実感できるように，「分かったこと」という視点を提示し，振り返りを記述するよう促す。</p>